

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ武蔵小杉園	種別：認可保育所	
代表者氏名：坪内 薫	定員（利用人数）：60名 （利用人数:59名）	
所在地：〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1135-1 グランツリー武蔵小杉3F		
TEL： 044-433-7007	ホームページ https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_067.html	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：平成27年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：グローバルキッズ武蔵小杉園		
職員数	常勤職員：13名 非常勤職員：7名	
専門 職員	（専門職の名称） 名	
	保育士：15名	栄養士：1名
	看護師：1名	調理師：2名
施設・ 設備の 概要	（居室数）	（設備等）
	保育室：5室	園庭：無
	トイレ：3ヶ所	
	調理室：1ヶ所	
	事務室：1室	

③理念・基本方針

<保育理念>
豊かに生きる力を育てる。

<保育目標>

- ・「ありがとう」「ごめんね」が素直にいえる子
- ・自分の意志をしっかりとち、表現出来る子
- ・友だちに思いやりがもてる子

<保育方針>
「日々の保育を大切に」
○保育者が進んで挨拶や感謝の気持ちを伝える
○保育者が子どもに向き合い、遊びを見守る
○一人ひとりの子どもの気持ちを尊重しつつ、一緒に育つ保育をしていく。
乳幼児期の子どもたちは、心身ともに驚くべきスピードで成長し発達していきま
す。特に脳内（脳神経）の発達著しく、周りの環境から様々なことを吸収し働きか
けながら、考え、話し、学び、判断する能力を伸ばしていきます。その後の人間関係
の基礎となる『自己形成』の大切な時期に、私たちは「人として尊ぶ」「心の育ち」
「保育のプロとしての働きかけ」「環境」「今を楽しむこと」を『大切にすべき』だ
と考えています。

④施設・事業所の特徴的な取組

○園の特色

グローバルキッズ武蔵小杉園はJR及び東急東横線の武蔵小杉駅から徒歩4分ほどの、大規模商業施設の3階にあります。商業施設や企業が並ぶ街中ではありますが、徒歩圏には自然豊かな公園が複数あり子どもたちの散歩コースになっています。園内は明るく、木の温もりが感じられる環境となっています。夏場には4階のテラスをお借りして、子どもたちがプール・水遊びを楽しんでいます。グローバルキッズ武蔵小杉園は、平成27年（2015年）4月に株式会社グローバルキッズによって開設されました。運営法人は「子どもたちの未来のために」という企業理念のもと東京都内や横浜市内を中心に保育所を多数運営しています。園の保育理念は「豊に生きる力を育てる」、保育目標は「ありがとう、ごめんねが素直に言える子」「自分の意志をしっかりともち、表現できる子」「友だちに思いやりがもてる子」です。園の開園時間は平日、土曜日ともに7時～20時で、定員60名のところ59名（0歳児～5歳児）が利用しています。職員構成は、常勤・非常勤職員を含め、保育士の他に看護師、栄養士、調理師など20名で保育を行っています。

○目指す施設像

乳幼児期は植物で言えば根っこを育てる大事な時期。十分な太陽（周りの人の温かい愛情）、十分な栄養のある土（子どもの成長にとって望ましい環境）根っこはその後一生にわたって幹や枝を支える部分の為、将来いろいろな栄養を十分吸収できるたくさん根を張らせてあげることが私たち保育者の役割であると考えている。また、子どもたちと同じように職員一人ひとりが成長できる場である。仕事に誇りを持ち、充実した環境を手にして、平等に対話しながら保育を組み立てることを楽しむ。働く人も心地よく自分らしくなれる場所にしていく。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月9日（契約日）～ 令和6年1月19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2020年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) チーム保育体制で、保育の質の向上に取り組んでいます

本年4月に大幅な人員体制の入れ替えがありましたが、ベテラン職員と新入職員との連携を図り、チーム保育体制づくりに取り組み、円滑な保育サービスの提供を継続できています。園長は、毎月全クラスの指導計画作成の打ち合わせに出席し、保育の活動内容や環境づくり、子どもへの対応方法などについてきめ細かい指導を行っています。異年齢保育やクラスの枠を越えた保育を積極的に進め、職員同士が助け合える環境づくりに努めています。保育の質を向上させるには人権を尊重した保育の実践が肝要であると認識し、園内研修で適切な保育、人権チェックリストを用いた振り返り、行動規範、子どもの権利条約等、グループワークも交えながら順を追って丁寧に進めています。研修報告書には各職員の気づきが記載され、職員の意識の向上に大きく役立っています。

2) 課題を明確にして職員育成を行っています

園が取り組むべき課題として①新入職員の指導と危機管理の徹底、②行事の見直しと保育の質の向上、③保育と食育の連携を掲げて園が目指す施設像の実践に向けて、園長以下職員が協同して取り組んでいます。具体的な主な実行計画として、新入職員が

適切な指導の下で、従来の保育観や経験に捕らわれず、子どもを中心にした保育を安心して行えることを目指しています。危機管理面では、安全点検の実施方法を見直し、危険箇所への気づきを話し合い迅速に対応していきます。危機予知トレーニングを園内で実施して、危機管理意識を高めていきます。また、行事のあり方について見直しを行い、保護者の意見を反映しながら行事計画を作成していきます。園の課題を明確にして職員育成を行っています。

3)園の保育方針の実現に向けた体制づくりが期待されます

園で作成した保育方針「保育者が進んで挨拶や感謝を伝える」「保育者が子どもに向き合い遊びを見守る」「一人ひとりの子どもの気持ちを尊重しつつ、一緒に育つ保育をしていく」に基づいた保育の実践を根付かせていくことが望まれます。新入職員を含め、園内研修や外部研修等への参加を通じて、職員間で情報共有しながら専門知識の習得やスキルアップを図り、さらに子どもたちのためにより良い環境づくりや保育を生かしていくための体制づくりに取り組むことが期待されます。

4)園の状況に応じたマニュアルの作成が期待されます

園は商業施設内にあり、さまざまな条件がある中で、子ども本位の質の高い保育を目指し、いろいろな創意・工夫を重ねてきています。法人のマニュアルには収まりきらない実践内容が多々あります。その中で標準的なものを園独自のマニュアルとし、職員間で共有していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

大幅に職員が入れ替わり、新体制としてスタートした一年目の第三者評価受審となりました。保育経験の少ない職員が多い中で話し合い、自己評価をまとめるのは大変でしたが、日々の保育を振り返ると共に課題に気づくことができた良い機会になりました。

利用者アンケートでは、「日々の保育を大切にしてくださっている」「園全体で見て下さっている感じ」「日々の様子を帰りの時と連絡帳を通して楽しく過ごしているのが伝わり安心して預けることが出来ています」など温かいコメントをいただきとても嬉しく、職員の励みにもなりました。ご指摘いただきました事項につきましては、真摯に受け止め本社・職員と共に検討して出来る限り改善し、透明性をもって保護者の皆様に信頼していただけるよう努めてまいります。

今後も園の課題を一つひとつ丁寧に話し合い、職員間の対話を大切にしながら、同じ方向性でチーム保育を実践していけるように努め、子ども中心の保育、子どもにとって最善の保育を安心して行えるように尽力いたします。

お忙しい中、アンケートにご協力くださった保護者の皆様ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり